

登録博物館「豊橋総合動植物公園」

生命の歴史をたどり、この星の未来を考え、地球規模で「いのち」の営みを一望できます。



豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）は約 40 ヘクタールの広大な敷地に、動物園、植物園、自然史博物館、遊園地が整備された施設です。生きものを、そしてこの星を幅広い視点で見つめることができる、国内でも数少ない総合公園なのです。

動物園ゾーンでは、動物たちの豊かな暮らしを守りながら、絶滅が危ぶまれる希少な種を未来に繋ぐ取り組みを進めています。様々な動物の生き生きとした姿を通じて、動物や、それを取り巻く環境について理解し、共感を覚えることができるでしょう。

植物園ゾーンでは、地元のものから世界各地の様々な気候で育つものまで、数多くの植物をご覧いただけます。美しい花々やたくましい高木など、その多様性には目を見張るものがあります。植物が根付くそれぞれの地域にも、思いを馳せることができるでしょう。

のんほいパークの個性は自然史博物館を有することで、より深みを増しています。自然史博物館では、この星の誕生から現代までの、星の歴史や生命の地球規模の流れ、さらには郷土の自然について、わかりやすく紹介しています。訪れる人は、数億年をさかのぼり、この星や生命の記憶を学び、身の周りの自然につながっていることを感じることもできるでしょう。

自然史博物館で生命の歴史に触れ、動物園や植物園で現代に生きる生命を感じることができる場所。生命が誕生した 40 億年前から現代までを一気に旅し、現代の動物や植物が様々な環境に適応して生きている姿を目の当たりにすることができる場所。それが豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）です。動物園、植物園、自然史博物館、全てを総合的に体験することで、地球や生命の過去・現在を知り、未来について考えていただけることでしょう。

沿革

- ▶ 明治 32 年 安藤政次郎氏、私設の安藤動物園を開設
- ▶ 昭和 6 年 安藤氏より豊橋市に寄付され、公立の豊橋市立動物園となる
- ▶ 昭和 20 年 空襲により爆撃を受け全壊・閉園
- ▶ 昭和 29 年 豊橋市動物園として再開園
- ▶ 昭和 45 年 場所を移転し、豊橋子供自然公園として開園
- ▶ 平成 4 年 拡張整備し、豊橋総合動植物公園として開園
- ▶ 平成 16 年 開園 50 周年記念イベント開催
- ▶ 平成 17 年 累計入園者 1,000 万人を達成
- ▶ 平成 24 年 累計入園者 1,500 万人を達成
- ▶ 平成 30 年 ボルネオ保全プロジェクト発足
- ▶ 平成 31 年 環境省により希少種保全動物園に認定
- ▶ 令和 2 年 世界動物園水族館協会 (WAZA)、国際種情報システム機構(Species360)に加盟
- ▶ 令和 7 年 博物館登録

第一種動物取扱業登録

氏名または名称	豊橋市長 長坂尚登	
事業所の名称	豊橋総合動植物公園	
事業所の所在地	愛知県豊橋市大岩町字大穴 1-238	
動物取扱業の種別	展示	販売
登録番号	動東第 182 号	動東第 489 号
登録年月日	平成 18 年 11 月 2 日	平成 30 年 2 月 2 日
有効期間の末日	令和 8 年 11 月 1 日	令和 10 年 2 月 1 日
動物取扱責任者	吉川雅己	